

平成25年深谷市教育委員会第10回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成25年深谷市教育委員会第10回定例会

日 時	平成25年10月8日(火)
	開 会 午後1時30分
	閉 会 午後3時00分
場 所	教育委員会 3階 大会議室
出席委員	委 員 長 田 中 章 子 委員長職務代理者 西 倉 郁 夫 委 員 柿 沼 敬 一 委 員 井 上 美佐子 教 育 長 小 柳 光 春
出席職員	教 育 部 長 島 崎 保 次 長 五十嵐 治 郎 次 長 大 澤 誠 一 次 長 植 竹 敏 夫 教 育 総 務 課 長 佐 藤 靖 彦 教 育 施 設 課 長 古 川 邦 彦 学 校 教 育 課 長 片 桐 雅 之 生 涯 学 習 課 長 鳥 羽 政 之 図 書 館 長 伊 藤 茂 隆
書 記	教 育 総 務 課 葦 塚 洋 明 課 長 補 佐

- 1 開会
委員長が開会を宣告
- 2 前回議事録の承認
第9回定例会の会議録を全員異議なく承認。
- 3 会議録署名委員の指名
委員長が田中委員（1号委員）及び柿沼委員（3号委員）を指名。
- 4 会議の概要
(1) 会議
 - ① 報告1 平成25年深谷市議会第3回定例会について
教育部長より説明
 - ② 報告2 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
 - ③ 報告3 深谷市立幼稚園のあり方懇談会について
教育総務課長より説明
 - ④ 報告4 深谷市立幼稚園へのエアコン暫定設置に係る期間延長について
教育施設課長より説明
 - ⑤ 報告5 屋根貸し太陽光発電事業の概要及び学校施設の対応について
教育施設課長より説明
 - ⑥ 報告6 平成24・25年度深谷市教育委員会委嘱研究発表会について
学校教育課長より説明
 - ⑦ 報告7 平成25年度第1回深谷市チャレンジ（中学校）実施報告について
学校教育課長より説明
 - ⑧ 報告8 深谷市教育委員会だより「こころざし第14号」（平成25年10月発行）について
大澤次長より説明
 - ⑨ 報告9 平成26年度深谷市立幼稚園の園児募集について
学校教育課長より説明
 - ⑩ 報告10 パンフレット「富岡製糸場と深谷の偉人たち」の発行について
生涯学習課長より説明
 - ⑪ 報告11 「渋沢栄一翁の史跡を巡る 2013」の実施について
生涯学習課長より説明
 - ⑫ 報告12 平成25年9月末現在の児童生徒の事故等について【非公開】
学校教育課長より説明
 - ⑬ 報告13 平成25年9月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
学校教育課長より説明

発言の要旨

① 報告1 平成25年深谷市議会第3回定例会について

委員長 事務局より説明を求めます。

教育部長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

西倉委員 為谷剛議員の一般質問の関係です。学校応援団が無い学校もあると思いますが、学校応援団の組織率は、どの位ですか。あと、学校応援団を組織するにあたって一定の条件があったと思うのですが、実際はそれに沿って組織されていますか。また、運営にあたっての活動費はどのようにまかなわれていますか。

教育部長 学校応援団は、すべての小・中学校にありますので、組織率は、100%です。

西倉委員 それでは、学校によって名称が違うのでしょうか。深谷中学校には学校応援団という名称の組織は無いようで、作りたいということで動き始めたのですが。

大澤次長 多少、名称は違うところはあります。私がいた岡部中学校では、「岡部中学校スクールサポーターズ オッス」という名前がついていますが、基本的には学校応援団として活動しています。教育委員会では、学校応援団に、コーディネーターを必ず設置するようにと指導し、すべての学校で組織されています。

学校教育課長 こちらにある資料では、部長、次長が説明したとおり、すべての学校に設置されています。深谷中学校については、学校からの報告では、学校応援団は現在100名程度、活動内容は安心・安全活動、環境整備、生徒指導等となっています。ただ委員さんのおっしゃるとおり、既存の組織はありますが、皆様への周知が不十分なのかと思います。

教育部長 予算関係ですが、全29校に一律の予算を配当しています。地域教育協議会の消耗品費として27,200円、学校支援ボランティア保険として25,000円の合計52,200円を各学校に配当しております。

先ほど出ました為谷議員の質問の関係ですが、学校応援団のなかには色々な技能を持っている方がいらっしゃいますので、例えば、ちょっとしたタイルの修繕や、木工の修繕などをする際に、先ほどの52,200円とは別に、学校の予算から原材料を購入し、学校応援団の方に修繕の労力を提供していただいております。

西倉委員 色々な名称があるということですね。深谷中学校では運営費を卒業生から頂いて活動する振興会という組織があります。予算面では、学校応援団には合致していないようですが、内容的にはこれが学校応援団にあたるかなと思います。名称は様々ということですが、名称や活動の要件を揃えていただけると、

市民にとっても分かりやすく、より活動しやすくなるかなと思います。

教 育 長 学校応援団というのは、平成17年に全県で8校位のモデル校で開始しました。この辺では、児玉地区の秋平小学校がモデル校でした。平成18年から県内1,240校全校に配置していこうということになりました。私が着任したときは、中学校には学校応援団が揃っていませんでした。小学校は9割以上揃っていました。その後、働きかけましたが、ご指摘のとおり漏れがあったかもしれません。

学校応援団と言えるには、2つ基準があります。一つは、コーディネーター、つまり調整する人が必要です。こちらは、PTA会長、後援会長、あるいは地域の顔役といいますか、自治会長さんでも結構です。もう一つは、組織がきちんとしていることです。例えば、安心・安全のグループ、学習支援のグループ、環境整備のグループなどがあるということです。この2つが揃っていれば学校応援団ということになります。ただし、名称については任意とされています。この2つの基準から照らしてみても、もし深谷中学校にそれが無いのであれば、それは少し反省しなければならないと思います。また、名称を揃えることに関しては、県内を見ても、学校応援団という名称を使っているところもありますが、バラバラであります。予算は、基本的に保険です。環境整備に来て、木から落ちてしまったというようなケースに対応する保険に加入しています。いずれにしても応援団なので公金はほとんど出されていません。

西 倉 委 員 深谷中学校としては、安心・安全や環境整備のお手伝いをしてくれる方がいらっしゃるの確かです。PTAと応援団との関係がはっきりしていないのかもしれないです。

教 育 長 PTAと学校応援団は違うものです。PTAというのは子どもが在籍中にかかわる組織です。学校応援団は、子どもの在籍にかかわらず学校を応援する組織です。従って、おやじの会、母親の会という名称でも構わないです。もう一度29校を精査して、意思統一を図っていきたいと思います。

西 倉 委 員 深谷中学校では、振興会が、在籍する子どもがいなくても活動する団体となると思います。

柿 沼 委 員 初めて聞いたものですから、ちょっと確認させていただきたいのですが、学校応援団というのは、名簿があって、地域を限定して活動しているのですか。深谷中学校では、PTAや振興会などでそれに代わるような人達がそろっているので、今までは必要でなかったけれど、他のところではそういった方がなかなかいらっしゃらないので学校応援団を組織しているのかな、と思います。

教 育 長 地域によって随分違います。西倉委員さんの大寄小学校などは、子どもの数が少ないためかかわる大人も少ないです。それと同時に農村地帯ということもあって、退職後も農業をやるため、ボランティアに出てくる人が少ないので、3年前に私も校長さんと一緒に地元回りをしたことがありました。ですので、応援団といっても少ないところもありますが、人口が少ないのしょうがないです。学校を支えている地域が母体となっています。

柿 沼 委 員 学校ごとということですが、一人の方が5, 6も掛け持ちしてもよいのですか。

教 育 長 それは大丈夫です。

② 報告2 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について

委 員 長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 (概要を説明)

委 員 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

③ 報告3 深谷市立幼稚園のあり方懇談会について

委 員 長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 (概要を説明)

委 員 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 他市と同様に本市も園児が減少傾向にあると思います。そこで、あり方懇談会のなかで幼保一体化の検討を進めるなど対策を取られているかと思いますが、それだけで園児を確保するのは難しい状況だと思います。幼稚園そのものの経営の中で特色を出すことに力を入れている園があるという記事やニュースを見ましたが、園児を集めるためにこれ以外になにか方策をとっていますか。幼稚園は3時前に終わってしまうので、共働きの親が増えているなかで、長時間預かって貰えるという理由で、保育園に子どもを取られているのが現状だと思います。

教育総務課長 この園児数の減少は長年の課題です。平成12年ごろには、5歳児のみだった対象を4歳児にまで拡大しました。また、2年前には預かり保育を開始し、1時間延長し3時まで預かるようになりました。また、子育て広場を開催するなどして、園児の確保に努めております。

井 上 委 員 教諭の臨時任用が多いですが、本採用を増やす予定はありませんか。

教育総務課長 本採用についても、長年、人事課と詰めている課題であります。我々職員全体の人数の計画が市長部局にあります。合併時

に退職する人数の半分しか採用しないという計画で、年々職員数を減らしているところです。そのため、幼稚園教諭のみ採用を増やすのは難しく、現在に至っております。幼稚園についてはっきりとした、例えば何園になるなどの計画ができましたら、それに基づいた採用計画もできると思います。

学校教育課長 教育総務課長の補足となりますが、園児の減少への対策としては、現在、子育て広場を盛んにやっております。沢山の方にきていただき、幼稚園に上がる前の段階から、幼稚園に興味を持っていただいております。それから、幼小の連携に力を入れていきたいと思っています。園によって差はありますが、例えば、深谷幼稚園では、外国語活動などを行い、幼小の連携を図っています。また、広報のやり方も工夫をして、3歳児検診時にチラシを配布するなどして、幼稚園の良さの周知を図りたいと思います。

井上委員 幼稚園の特色が見えないですね。昔は、あそこの幼稚園に預けるとこのような特色があるということがありました。最近、同じような園になっているので、園児が減っているのかなとも思いました。

教育長 おっしゃるとおり、以前は運動面で文科省から委託を受けて研究を行ったりしていました。このところ低調な面があるかもしれません。いずれにしても幼児期の教育をどう充実させるかは幼稚園の責務ですので、考えていかなければなりません。同時に、保育との一体的な対応の中でそれを求めているので、こども園という方向性を見据えてやっていきたいと思っています。

④ 報告4 深谷市立幼稚園へのエアコン暫定設置に係る期間延長について
委員長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑤ 報告5 屋根貸し太陽光発電事業の概要及び学校施設の対応について
委員長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑥ 報告6 平成24・25年度深谷市教育委員会委嘱研究発表会について

委員長 事務局より説明を求めます。
学校教育課長 (概要を説明)
委員長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑦ 報告7 平成25年度第1回深谷市チャレンジ(中学校)実施報告について
委員長 事務局より説明を求めます。
学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。
西倉委員 特1級はどの位のレベルですか。飛び級ができる位ですか。
教育長 飛び級制度は、義務教育には無いのですが、凄くできるという
意味のご質問かと思います。認定数からしますと、数学は各校に2名程度、英語は各校に16名程度です。特1級は、各学校の本当のトップクラス、数学の方の人数を想定しています。また、各級の認定については、問題に対して何%できるかという通過率を決めています。1級の問題にチャレンジして、かなり高い通過率をクリアすると特1級になります。
学校教育課長 問題のレベルについてのご質問ですか？

西倉委員 そうです。
学校教育課長 通常の学校で行う定期テストよりも幅広い範囲で、基礎的なもの、応用的なものを問うものになります。塾などで行われている模試などとは違う問題になります。後で、問題をお見せします。

大澤次長 1級の問題にチャレンジすると通過率により、各級に認定されるのですが、そこで95%以上だと特1級となります。

井上委員 3級の生徒達に意欲や目標を持たせる工夫はありますか。
学校教育課長 3級を受けて、それも難しく感じる生徒はいます。チャレンジして意欲を失ってしまうことは意図しておりませんので、繰り返しチャレンジして達成感をもたせるような工夫をしております。また、3級を受けて、現状に満足してしまう子達もいます。そういう子には、例えば私がいた学校では、前回の2級の問題にチャレンジさせて、自信を持たせるなどして、チャレンジする意識を高めるような工夫を、授業をとおして行っています。今の子ども達は、現在の自分の位置よりもちょっと高いハードルではなく、すぐに超えられそうなハードルを選んでしまう子がいますので、今年は昨年よりもチャレンジを全面に出すことにより意欲を高める工夫をしております。全校でスタートしたばかりですが、これを軌道に乗せて、子ども達が色々な場面で、自分をさらに高められるように、学力担当教員とも協議しながら考えていきたいと思っております。

井上委員　　そういう工夫をしているなかで、進路進学に際しても変化が出てきていますか。

学校教育課長　　変わると信じております。中学校におきましては、子ども達がチャレンジをすることを通して自信を持ったことは確かですので、今度の高校入試に関してより良い結果を報告できるようにしていきたいと考えています。

教 育 長　　補足です。一番厳しい3級の生徒に対してはステップアップレッスンでフォローするようにしていますので、これを8～10月以降連続してやることによって入試につなげたいと思っています。

⑧ 報告8 深谷市教育委員会だより「こころざし第14号」（平成25年10月発行）について
委 員 長　　事務局より説明を求めます。

大澤次長　　（概要を説明）

委 員 長　　本報告について、質疑はありませんか。

井上委員　　前回の定例会の時も全国学力・学習状況調査結果の報告があり、いま検討委員会をやっているかと思いますが、個別の課題に対する具体的な対応策については今後報告がありますか。

大澤次長　　調査結果を受けて学力向上担当者を集めての研修会を行い、そこで現在検討しているところです。また校長会でも、成果を上げている学校の取組について報告しています。今後、長期にわたることですが、定期的に学力向上担当者の会議において学力向上策を検討して、共有できるようにしていきたいと思えます。具体的なことについては、今後の研修会で検討しますので、またご報告いたします。

⑨ 報告9 平成26年度深谷市立幼稚園の園児募集について

委 員 長　　事務局より説明を求めます。

学校教育課長　　（概要を説明）

委 員 長　　本報告について、質疑はありませんか。

（質疑なし）

⑩ 報告10 パンフレット「富岡製糸場と深谷の偉人たち」の発行について

委 員 長　　事務局より説明を求めます。

生涯学習課長　　（概要を説明）

委 員 長　　本報告について、質疑はありませんか。

（質疑なし）

⑪ 報告 1 1 「渋沢栄一翁の史跡を巡る 2013」の実施について
委 員 長 事務局より説明を求めます。
生涯学習課長 (概要を説明)
委 員 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑫ 報告 1 2 平成 2 5 年 9 月末現在の児童生徒の事故等について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

⑬ 報告 1 3 平成 2 5 年 9 月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

委 員 長 本日の議事はすべて終了いたしました。
次回第 1 1 回定例会は 1 1 月 1 2 日 (火) 午後 1 時 3 0 分開
会です。
以上で、平成 2 5 年深谷市教育委員会第 1 0 回定例会を閉
会します。